

平成30年度当初予算

平成30年度当初予算は、一般会計・特別会計・企業会計の総額で375億6,410万円（前年度比0.4%増）の予算となりました。

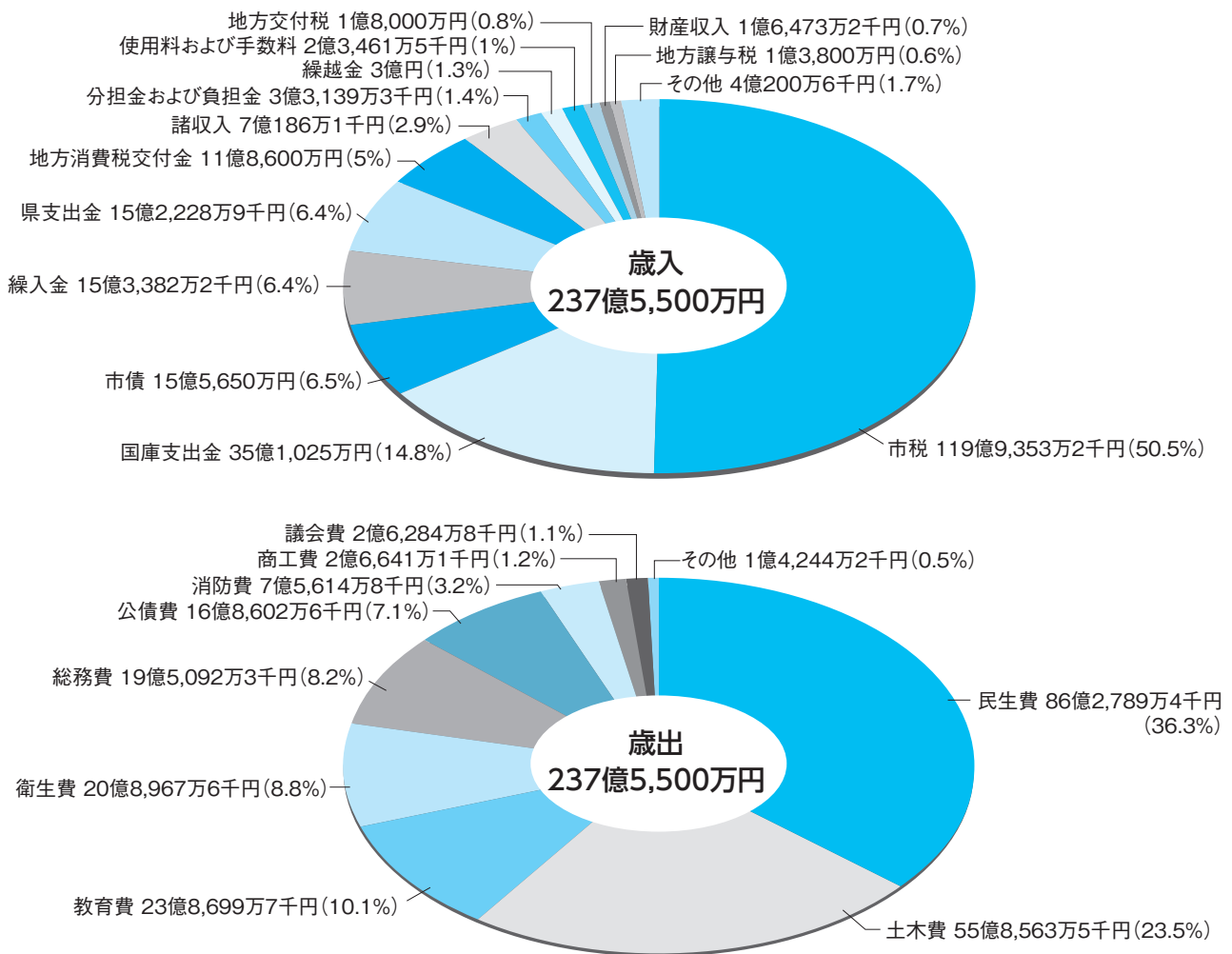
平成30年度においては、第6次知立市総合計画の将来像である『輝くまち みんなの知立～安らぎ、賑わう、住み良さを誇れるまち～』の実現や知立市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に向けた事業などに限られた財源を有効に活用し、優先順位を決めて予算の編成を行いました。

財政の硬直化が進んでいる厳しい財政状況下にある危機感を十分認識し、新たな経常経費となる事業については、経常的な特定財源の確保やスクラップアンドビルドの考え方を基本とするとともに、これまでに取り組んできました事務事業の「統合化・共同化」に加え、公共施設の省エネ対策の検討など、新たな経費節減方策となり得る事業に予算を計上し、長期に渡る安定的かつ健全な財政基盤の確立を基本姿勢としています。

▶問合せ 財務課 財政係 (☎95-0146)

1. 一般会計 総額237億5,500万円（前年度比 7億500万円 3.1%増）

() 内は構成比



2. 特別会計 総額117億4,910万円 (前年度比 △5億7,150万円 4.6%減)

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	52億780万円	15.2%減
公共下水道事業	23億3,070万円	13.9%増
土地取得	150万円	86.5%減
介護保険	34億1,160万円	2.3%増
後期高齢者医療	7億9,750万円	1.7%増

3. 企業会計(水道事業) 総額20億6,000万円 (前年度比 300万円 0.1%増)

内訳

収益的支出 12億7,500万円
資本的支出 7億8,500万円

平成30年度 当初予算 主要事業の紹介

人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

- 1 防犯カメラ設置費補助金交付事業 165万8千円 (安心安全課)**
犯罪を未然に防ぐ防犯カメラ設置の普及を目的とした事業であり、設置者に対して費用の一部を補助することにより、安全で安心なまちづくりを推進します。平成30年度からは、地域の同意を得た町内会に対しても補助対象とします。
- 2 昭和未来会議推進事業 399万3千円 (福祉課)**
昭和地区および東小学校区住民を主な対象とした地区会議を平成30年度も継続して開催し、地域の課題、情報の共有、課題解決に向けた取組の報告をしていきます。
- 3 強度行動障害者支援事業【新規】 30万円 (福祉課)**
強度行動障害者本人・家族が安定した生活を送ることができ、支援を必要とする時に必要な支援が受けられるよう、強度行動障害者を受け入れる事業所への補助金の交付を行います。
- 4 障害者相談支援事業【拡充】 3,943万4千円 (福祉課)**
障がいのある人の福祉に関する様々な問題について、障がいのある人、家族、支援者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、障害福祉サービスの利用支援等を行います。相談件数や複雑な案件の増加に対応するため、相談支援員を1人増員します。
- 5 知立市こころ応援計画策定事業【新規】 468万8千円 (健康増進課)**
自殺対策大綱の基本方針に基づき、既存の健康知立21計画や地域福祉計画などの他の計画との調和を図りながら、地域の実情を踏まえ、自殺対策基本法に基づく市町村自殺対策計画として、知立市こころ応援計画を策定します。
- 6 9020歯科健康診査・表彰事業【新規】 42万1千円 (健康増進課)**
9020を達成している市民を募集、表彰することにより、歯の健康を維持し、健康に食べることの重要性を広く市民に啓発し、さらなる健康づくりの意識向上と歯科保健事業の推進を図ります。
- 7 自主防災活動活性化事業 151万5千円 (安心安全課)**
災害支援活動等経験豊富な NPO に委託し、自主防災会相互の情報交換・研修会や講習会を実施します。また、各自主防災会が災害応急活動時に、被害情報や安否情報を一目で共有できる地図を作成し、避難行動要支援者の救助に活用します。

人々が集う交流のまちづくり

- 1 市制50周年事業【臨時】 87万1千円 (企画政策課)**
平成32年度に市制50周年を迎える知立市にふさわしい周年事業のあり方などを検討するため、市制50周年事業準備委員会を設置し、準備を進めます。
- 2 かきつ畑プロジェクト推進事業【新規】 50万円 (経済課)**
農への関心や理解を高めるため、関係団体からの情報収集や農に触れる人を増やすイベント等を実施します。
- 3 八橋かきつばた園整備事業【臨時】 977万円 (経済課)**
知立市の重要な観光資源である八橋かきつばた園のかきつばたの生育不良の原因と思われる病原菌の排除を目的として、かきつばた池の土壌の入替えを実施します。
- 4 観光交流センター管理運営事業【新規】 261万7千円 (経済課)**
旧東海道沿いのかつての池鯉鮒宿に位置する知立駅北地区商店街の一角に観光交流センターを設置、運営し、来訪者の利便性を向上させることで、観光振興を図ります。
- 5 幹線市道路路面緊急補修事業 7,170万円 (土木課)**
1・2級幹線道路の舗装修繕を実施することで自動車の安全で快適な走行環境を確保し、安心安全な道路の維持を図ります。
- 6 知立中央通線道路改良事業 6,200万円 (土木課)**
知立中央通線と上重原町13号線の交差点に信号が設置できるよう、知立中央通線に右折帯を設置し、交差点改良を行い、歩行者の安全確保、車両交通の円滑化を図ります。

- 7 東上重原西中線歩道整備事業 5,440万円（土木課）
東上重原西中線（上重原町本郷交差点から西中町西中苑交差点までの区間）の歩道を整備します。
- 8 前田排水路改修事業【新規】 190万円（土木課）
既設雨水管の排水能力不足を改善するため、排水路の改修を行います。
- 9 八橋東西線整備事業 7,479万5千円（都市計画課）
（旧）八橋里線整備事業。市北東部地域の発展等に寄与するため、幹線道路を整備し、同地域の移動性および利便性の向上を図ります。
- 10 花園里線整備事業 2億998万円（都市計画課）
（旧）花園八橋線整備事業。市北東部地域の発展等に寄与するため、幹線道路を整備し、同地域の移動性および利便性の向上を図ります。
- 11 知立環状線整備事業 7,375万円（都市計画課）
- 12 知立南北線整備事業【新規】 390万円（都市計画課）
知立駅周辺整備関連事業として、本路線の元国道1号線以北の未整備区間について知立駅周辺土地区画整理事業の整備に合わせた整備を図ります。
- 13 知立駅周辺土地区画整理事業 11億2,216万3千円（都市開発課）
- 14 知立駅北地区市街地再開発事業 6億5,410万8千円（まちづくり課）
- 15 知立連続立体交差事業 7億6,300万円（都市開発課）
- 16 知立連続立体交差関連事業 2億3,418万6千円（都市開発課）
- 17 西新地地区土地利用計画調査事業 1,613万3千円（まちづくり課）
- 18 知立駅南土地区画整理事業 1,500万円（都市開発課）

次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり

- 1 子ども・子育て支援事業計画策定事業【臨時】 372万6千円（子ども課）
子ども・子育て支援法第61条の規定に基づき策定した現在の子ども・子育て支援事業計画の計画期間は平成31年度までのため、次期5か年計画を策定します。
- 2 保育園保全事業【臨時】 984万8千円（子ども課）
上重原西保育園の大規模改修工事に向けた設計委託および新林保育園の配膳用昇降機の改修工事を実施します。
- 3 児童クラブ開所時間延長事業（児童厚生員増員）【拡充】 8,576万円（子ども課）
児童クラブの開所時間を現行の午後6時30分までから午後7時まで延長時間に延長するため、児童厚生員を3人増員します。
- 4 待機児童対策事業【臨時】 186万円（子ども課）
来迎寺子育て支援センターを来迎寺児童センター内に移転し、子育て支援センター移転後の同スペースを保育室として活用することにより、来迎寺保育園において0・1歳児の定員の増員を図ります。
- 5 児童・生徒支援事業（刈谷市立特別支援学校通学者負担金）【新規】 859万6千円（学校教育課）
肢体不自由が主な障がい、市内の小中学校では適切な支援・指導が困難な児童生徒が、刈谷市立特別支援学校に在学し、支援を受ける際の運営費を負担します。
- 6 少人数学級事業 9,269万7千円（学校教育課）
きめ細かな学校教育を推進するため、市費負担教員（少人数学級対応教員）を学級担任として配置し、小学校全学年において少人数学級（35人学級）運営を実施します。
- 7 小学校保全事業【臨時】 4,090万円（教育庶務課）
経年により機能低下の見られた知立小学校校舎について、長寿命化改良工事を行うため平成30年度において工事の実施設計を行います。

互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり

- 1 第3次知立市男女共同参画プラン策定事業【臨時】 260万3千円（協働推進課）
国の第4次男女共同参画基本計画およびあいち男女共同参画プラン2020の策定を受け、次期10か年計画を策定することで、男女共同参画社会の実現を目指します。

芸術や文化を大切にすまちづくり

- 1 東海道池鯉鮒宿並絵図活用事業【新規】 251万4千円（文化課）
江戸時代、宿場町であった当時の屋敷割りを描いた東海道池鯉鮒宿並絵図を購入し、歴史民俗資料館に展示するなど、その保存・活用を図ります。
- 2 ユネスコ登録記念事業（文化会館展示用山車幕新調事業） 593万5千円（文化課）
ガバメントクラウドファンディングによる寄附金を活用して、平成29年度より山車の修復等を実施しており、このうち幕の新調について、平成30年度においても引き続き実施します。
- 3 福祉体育館 エレベーター更新事業【臨時】 2,672万5千円（生涯学習スポーツ課）
開館後35年以上が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、福祉体育館のエレベーターの更新工事を行います。

知立が輝くための仕組みづくり

- 1 公共施設のあり方検討事業（道路 LED 照明灯等導入調査事業）【臨時】 550万円（財務課）
道路照明灯および公園照明灯の LED 化に向け、具体的な計画（LED 照明導入計画）を策定することで、LED 照明へのスムーズな切替を図ります。
- 2 公共施設のあり方検討事業（カーボン・マネジメント強化事業）【臨時】 1,000万円（財務課）
平成28年5月に閣議決定された「地球温暖化対策計画」に即して、具体的かつ実効性のある「地方公共団体実行計画事務事業編」を策定します。
- 3 旅券事務事業【新規】 216万2千円（市民課）
愛知県からの権限移譲を受け、旅券申請者が市窓口で手続きができるよう、平成31年4月の開設を目指して進めていきます。

その他の主要事業

- 1 知立市都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定事業【臨時】 871万6千円（都市計画課）
知立市の都市計画に関する基本的な方針を示し、今後のまちづくりの将来像を示す知立市都市計画マスタープランを改定するとともに、知立市の緑地の保全および緑化の推進に関する基本計画である知立市緑の基本計画を改定します。

特別会計・企業会計

- 1 国民健康保険特別会計 平成30年4月から国民健康保険の県単位化が行われます。
- 2 介護保険特別会計 平成30年4月から、要介護状態となった場合においても可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるための施策として、新たに3事業（在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業）を実施し、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築を推進します。
- 3 水道事業会計 災害時応急資機材等整備事業において、地震等の災害時において可能な限り水道水を供給するため、応急給水資機材および応急給水施設の整備を行います。

知立市の予算を家計に例えると…

知立市の一般会計予算237億5,500万円を平成28年分民間給与実態統計調査（国税庁）平均給与421万6千円（月収35万1千円）の家計に例えてみました。

■知立市1か月の家計簿

○収入

給与（市税、交付税、交付金等）	27万9千円
うち基本給（市税）	17万7千円
うち諸手当（国県支出金等）	10万2千円
副業収入（使用料・その他収入等）	2万7千円
貯金切崩し（繰入金）	2万2千円
銀行からの借入れ（市債）	2万3千円
合 計	35万1千円

○貯金および借金残高（平成29年度末時点見込）

貯金残高	63万4千円
借金残高	307万5千円

○支出

食費（人件費）	5万9千円
医療費（扶助費）	7万円
ローン返済費（公債費）	2万5千円
家・車・家電等の買替え・修繕（普通建設・維持補修費）	5万7千円
光熱水費（物件費・補助費等）	10万1千円
貯金（積立金・投資・出資・貸付金）	4千円
子どもへの仕送り（繰出金）	3万4千円
その他（予備費）	1千円
合 計	35万1千円